

2020年度いばらき子ども 食堂応援成 活動報告書



2022年4月

認定NPO法人 茨城NPOセンター・コモンズ

目 次

整理 番号	項 目	ページ数
1	寄付募集の案内	2
2	助成の募集要項	3～6
3	助成対象活動の一覧	7
4	助成交流会の新聞記事	8
5	きらきらスペースの活動報告書類	9～11
6	ami seed の活動報告書類	12～14



いばらき子ども食堂 応援募金

目的

茨城県内の子ども食堂や学習支援など、子どもの居場所を資金的にサポートすることで、地域で子どもを支え、見守る仕組みの創設、継続を図ります。

ご寄付の用途

茨城県内の子ども食堂などの活動を広く支えるため、消耗品費、旅費交通費、印刷製本費など、その活動の設立、継続に必要な経費を、あまり用途を限定せずに充当します。

ご寄付の流れ

- ・認定 NPO 法人 茨城 NPO センター・コモンズが独自にご寄付を集め、資金的サポートを必要とする茨城県内の子ども食堂などに助成します。
- ・ご寄付をいただいた都度助成を行うのではなく、一定のご寄付（助成原資）が集まった段階で、助成を行います。

寄付者優遇税制が適用

「いばらき子ども食堂応援募金」を設置する茨城 NPO センター・コモンズは、認定 NPO 法人です。ご寄付いただくと、税制面で優遇されます。詳しくはウェブサイトをご覧ください。

お振込先

株式会社 ゆうちょ銀行 〇一九店（ゼロイチキユウ店）
当座 0046911（記号番号：00160-7-46911）
茨城 NPO センター・コモンズ（トクヒ）イバ ラキ エヌ
ピ -オーセンター コモンズ）

ご寄付の方法

- ・口座振込
- ・事務所での現金手渡し
- ・クレジットカード（※）
- ・クレジットカード（毎月決済）（※）
- ・コンビニ払い（※）
- ・ペイジー（※）

※印のついた方法を選択される場合、まずはインターネットでお申し込みください。備考欄などに必ず「いばらき子ども食堂応援募金」と入力し、用途を限定してください。

< www.kodomo-ibaraki.net >



茨城NPOセンター・コモンズとは

1998 年に設立された、茨城のセーフティネット推進、市民活動支援組織です。ひきこもりがちな市民の居場所づくりや就労支援、生活困窮者の就労・家計相談対応、被災地域の復旧・復興支援や地域防災推進、外国ルーツの子どもの保育園の運営や教育環境整備の他、市民団体の運営サポート、ネットワーキング、資金仲介などにも取り組んでいます。

※ 匿名寄付を望まない場合、ご氏名、ご住所、連絡先、「いばらき子ども食堂応援募金」にご寄付されたことを、コモンズに必ずお伝えください。税控除手続きに必要な領収書を送付します。

株式会社 常陽銀行 本店営業部 普通 1978796
特定非営利活動法人 茨城 NPO センター・コモンズ 代表
理事 横田 能洋（トクヒ）イバ ラキエヌピ -オーセン
ター コモンズ）



いばらき子ども食堂 応援助成

申請受付中

助 成 コース	子ども食堂スタート助成	パントリー・宅食応援助成
地域の 課題と 背景	子ども食堂などの地域の居場所は、この数年で急激に増加しました。茨城県内でも 88 箇所確認されています。(2021 年 2 月現在) 多世代交流、食育、また場合によっては、生活困窮世帯の食料支援やひとり親支援など、様々な機能が確認されます。 一方、設置個所にもばらつきが見られます。県北、鹿行、県西での数は十分とは言えません。子ども食堂が 1 つも存在しない市町村もあります。 また、小学校区あたりで子ども食堂が 1 つ以上存在する、茨城県の充足率は 14.1%と、全国平均よりも下回ります。茨城県では、7 人に 1 人の子どもしか子ども食堂を利用できない状況を示すものであり、全ての子どもにアクセスしやすい居場所とはなっていません。	コロナ禍によって、特に女性が強く影響を受けていると言われる失業率の悪化など、独自の緊急事態宣言が継続している茨城県でもその影響が心配されます。 そのような中、ひとり親や生活困窮世帯、学生などを対象としたフードパントリーや宅食(デリバリー)の事例が、茨城でもだいぶ増加してきました。ただ食品を渡すだけではなく、心配な家庭の見守りにつながったり、悩みを打ち明けるコミュニケーションの機会にもなっており、その有効性が確認されています。 一方、経済的に厳しい状況の市民を対象とする活動のため、参加費などの対価を得にくく、活動を継続するには外部資源を継続的に集めることが必要となります。支援対象の生活困難な状況が深刻化する中、途中で活動を取りやめることも難しい状況です。
目 的	子どもなどがアクセスしやすい場所に、茨城の子ども食堂を広げること	フードパントリーや宅食の持続可能性を高め、コロナ禍の生活困難な茨城県民をサポートすること

助成 団体	認定 NPO 法人 茨城 NPO センター・コモンズ	
財 源	茨城で子どもを支え、見守る仕組みの創設、継続を目的とした「いばらき子ども食堂応援募金」に賛同した市民や団体からのご寄付	
助成 金額	15万円 を2件	30万円 を1件
対象 地域	下記のいずれかに該当する地域が対象。 ・ 子ども食堂などが存在していない市町村（最新の子ども食堂一覧は子ども食堂サポートセンターいばらき（以下、サポセン）のウェブサイト参照） ・ 県北（日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、常陸大宮市、大子町） ・ 鹿行（鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市） ・ 県西（古河市、結城市、下妻市、常総市、筑西市、坂東市、桜川市、八千代町、五霞町、境町）	茨城県内
対象 活動	子ども食堂（共食型だけではなく、テイクアウト型含む）、フードパントリー、宅食、無料塾（生活困窮者自立支援制度に基づく学習支援事業以外の活動）など、食を通じた子どもの居場所づくりや生活困窮世帯支援などに取り組む茨城県内の市民活動 ※ ひとり親や生活困窮の世帯をサポートする団体がより望ましいですが、必須要件ではありません。	フードパントリーや宅食など、食料支援を通じた見守り活動
対象 団体	下記のいずれかに該当する市民や団体が対象。 ・ 半年以内に子ども食堂を設立予定の市民や団体 ・ 設立1年以内の子ども食堂など	上記活動に取り組む市民活動団体、または半年以内に上記活動に取り組む予定の市民や団体など
	（両コース共通） ・ 法人格の種類や有無は問いません。母体が営利事業者であっても、自発的な市民グループとしての活動と位置付ければ、助成対象となります。 ・ 団体所在地が茨城県外でも、活動場所が県内であれば申請可能です。 ・ 関連する活動など、団体としての活動実績は問いませんが、あるとより評価されます。 ・ 選挙に関わることや、宗教を主目的とする組織は対象としません。	
対象 経費	・ 人件費や管理費なども含め、対象経費に制限はありませんが、どのような経費にいくら助成財源を充当させるかも含め、審査対象となります。 ・ 参加費など助成金以外の自主財源はなくても構いませんが、財源構成も含め、活動の持続可能性も審査対象となります。	
助成以 外のサ ポート	ご希望により、茨城 NPO センター・コモンズによる組織運営の助言や、活動成果を高めるためのサポートが受けられます。 ※ 専門的な相談内容の場合、相談料が発生する場合があります。	
スケジ ュール （両コ	日程（予定）	内 容
	2021年2月28日（日）～3月16日（火）（必着）	助成申請受付
	2021年3月下旬	助成審査

一ス共通)	2021 年 3 月末	助成決定通知
	2021 年 4 月中旬	贈呈式実施、助成金振込
	助成決定通知日～2022 年 3 月 13 日（日）	活動実施
	活動終了後 1 か月以内もしくは 2022 年 3 月 31 日（木）のいずれか早い日まで	報告書類提出
選考方法	茨城県内の子ども食堂の運営事情に詳しい者などから構成される選考委員会にて審査。	
選考基準	① 助成趣旨に十分沿った活動か ② 地域課題の解決や価値創造に明確に結びつくか ③ 地域の居場所と出番の広がりを目指しているか ④ 市民の共感と参加を得やすいか ⑤ 他の組織のモデルとなるか ⑥ 他団体とのつながりは十分か ⑦ 活動の実現可能性は高いか ⑧ 助成金の使途は適切か	
お支払い方法	ご指定の口座に、一括で銀行振込を行います。（極力団体名義の口座を設けてください） ※ 任意団体でも団体名義の口座開設は可能です。	
活動報告	・ ご負担にならない範囲で、活動実施状況を随時ご報告ください。 ・ 助成対象団体の事務的負担を考慮し、中間報告書の提出や中間報告会は開催しません。 ・ A4 で 2 ページ程度の書式に、活動写真とともに簡単な報告をいただきます。何を行ったかではなく、どのような成果につながったかを重視します。 ・ 領収書コピーの送付などは不要です。団体で保管をお願いします。	
申請方法	以下の書類を、申請窓口まで e メールまたは郵送。 ① 2 ページ程度の申請書（ サポセンのウェブサイトより書式をダウンロード ） ② 予算書（ サポセンのウェブサイトより書式をダウンロード ） ③ 最新の事業報告書及び財務諸表、もしくはそれらに該当する書類（もしあれば） ④ 必要に応じ、その他参考となる資料（団体パンフレットや会報、新聞記事など） ※ 代表印など押印不要。できるだけ e メールで申請してください。 ※ e メール申請の場合、書類受信の確認メールを送信します。 ※ 一般的な助成事業と異なり、審査前の助言など事務局が行います。できれば申請書完成前に申請書案を事務局にお送りください。一緒に良い活動企画を練り上げましょう。 ※ 活動計画などをさらに検討する必要がある場合、申請書類の再修正をお願いすることがあります。	
寄付者のメッセージ	「インターネットの記事で子ども食堂を利用する親子の記事を見て、2 児の親でもある自分に何かできることはないのかと考え、募金ができることを知りました。時間が許すなら実際に現場での活動もとは思いますが現状中々難しいところもあり、僅かな金額ですが少しでもお役に立てればと思います」 「子どもたちが平等に食事ができ、学べる環境がある社会になって欲しいです。直接お手伝いすることは、今は難しいので寄付だけでもさせてください」 「まだ収束が見えないコロナ禍の中、お忙しくお過ごしのことと思います。皆様のご活動に助けられている人が大勢いることでしょう」 「昨今の報道等で、子ども食堂の運営に支障をきたしている内容を耳にしています。少しでもお役に立ちたいと思い、幾ばくかの金銭を寄付というかたちでご支援したいです」 「昨今は新型コロナなどの影響によって貧困家庭が増えていると聞いているが、子どもたちは普通にスマホを持ち歩いていて、見た目では判らない。困っている世帯に確実に支援を届けたい」	
コモンズとは	1998 年に設立された、茨城のセーフティネットや市民活動の推進組織です。ひきこもりがちな市民の居場所づくりや就労支援、生活困窮者の就労・家計相談対応、被災地域の復興支援や地域防災推進、外国ルーツの子ども保育園の運営や教育環境整備の他、市民団体の運営サポート、ネットワーキン	

	グ、資金仲介などにも取り組んでいます。2019 年より「子ども食堂サポートセンターいばらき」を運営し、子ども食堂などの子どもの居場所に関する総合相談、人材育成、地域ネットワークの強化などに取り組んでいます。
その他	・ いただきます個人情報は、茨城 NPO センター・コモンズ「個人情報保護方針」に基づき、本事業運営及び関連するご連絡のみに使用します。 ・ 助成対象活動で作成する広報物などには、必ず本助成事業からの助成である旨、記載してください。 ・ コロナ禍の先が見通しにくい状況で助成申請をしていただくことになります。申請した活動内容や予算に変更が見込まれる場合、柔軟に対応しますので、都度ご相談ください。 ・ 「いばらき子ども食堂応援募金」は、現在も募金活動中です。ぜひ募金活動にもご協力ください。 ・ まずは、お気軽に事務局までお問い合わせください。あなたのチャレンジを応援します！
申請窓口、お問い合わせ	認定 NPO 法人 茨城 NPO センター・コモンズ 常務理事・事務局長 大野 寛 〒310-0031 茨城県水戸市大工町 1-2-3 トモスミと 4 階 みとしんビジネスセンター C-1 電話：029-300-4321 FAX：029-300-4320 eメール：kodomo@npocommons.org



いばらき子ども食堂応援助成
助成対象活動一覧

認定NPO法人 茨城NPOセンター・コモンズ

行 番号	助成コー ス	活動名	法人格	団体名	代表者 役職	代表者名	活動概要	地域	設立年	会員数	昨年度 経常収益計	助成金使途	助成額	寄付者への一言
1	パント リー・宅食 応援助成	まだまだコロナ 禍子ども食堂う しくっ子Sun フードバント リー	NPO法人	きらきらスパー ス	理事長	諏訪 浩子	牛久市近隣のひとり親家庭、生活保 護、必要保護、さまざまな家庭環境 の子どもと保護者が、いつでも子民 家はなみずき（事務所）や公共施設 で、食品や日用品を子どもと親の生 活を継続するためにフードバント リーや宅食を行います。	県南	2016	35	¥420,959	保険料、水道 光熱費、消耗 品費など	¥300,000	本当にありがとうございます。 このコロナ禍で大変な中 ですが皆様の思いを活動に変 えていきたいと思っています。
2	パント リー・宅食 応援助成	おいしさとまご ころを届ける支 援活動	任意団体	ami seed	代表	清水 直美	阿見町在住する単身世帯・ひとり親 世帯及びその家族を対象に、月2回の お弁当宅配支援とともに見守り活動 を行う。子ども食堂でのお弁当調理 時には、自炊が難しいと感じている 親子1組に調理に参加してもらい、調 理の楽しさなどを感じてもらう機会 をともする。	県南	2020	11	-	消耗品費、諸 謝金、印刷製 本費など	¥300,000	ご寄付をくださる方と支援を 受け取る方をつなげることが できれば一番のやりがいと考 え、事業を進めさせて参りま す。
合計													¥600,000	

子ども食堂の課題議論

水戸 運営団体と市民ら交流



交流会で子ども食堂運営団体と意見交換をする茨城NPOセンター・コモন্ズの
大野寛事務局長（左）＝水戸市大工町

子ども食堂の活動の輪を広げようと、「子ども食堂サポートセンターいばらき」（茨城NPOセンター・コモonz運営）は10日、水戸市大工町のトモスミとビルで、子ども食堂の運営団体や活動に興味のある市民らの交流会を開いた。交流会には約20人が参

加。同センターが本年度から始めた事業で、子どもの居場所づくりを資金援助する「いばらき子ども食堂応援助成」に選ばれた牛久市のNPO法人「さらさらスペース」（諏訪浩子代表）と、阿見町の「amised」（清水直美代表）が日頃の活動を報告した。

報告の中で、諏訪代表は「野菜などの提供を受けてもタイミングが合わない」と保存が難しいことや「虐待の兆候を見つけた際の行政との連携が難しい」と課題を指摘。清水代表は「外国人のひとり親世帯も一定数いて、言葉や文化の違いもあり、対応に工夫が必要。行

政の仕組みを理解しておらず、どこに相談していいかわからない親も多い」と難しさを挙げた。

参加者らは「話を聞きあらためて深刻な状況だと感じた」「抱える課題など生の声が聞けてとても良かった」と感想を述べた。

同センターの大野寛事務局長は「継続的な支援により物的な貧困だけでなく、子や親の家庭環境が少しでも良くなれば」と期待を込めた。
（川崎陸）

茨城新聞（2021年5月13日）

「いばらき子ども食堂応援助成」活動報告書

活動名	まだまだコロナ禍子ども食堂うしくっ子 Sun フードパントリー
団体名	特定非営利活動法人きらきらスペース
この活動で取り組んだ地域の課題や背景	一番最初から子どもの貧困と孤立した子育てについて取り組んできました。以前より長い休みになると痩せる子どもや冷凍食品などばかりの為、栄養失調症になる子どもを体感しています。でも、新型コロナウイルスによる急な休校に用意する事が出来ず、茨城新聞にも掲載して頂きましたが、夜食べる予定の物を昼に回したりやりくりしても、夕食に食べる物がなくなる話を聞きました。相談することもできず困っていると。ただ配るだけでなく家庭の様子も聞き確認できます。 長くコロナ禍が続き子ども生活環境と親の様々な負担、ボランティアの体制なども変わっています。
この活動の目的	子育てが孤育てになる親を地域からださないように、子どもとその親に対し、子育て支援を行うことを目的とする。
活動の対象	牛久市近隣のひとり親家庭、生活保護、準要保護、さまざまな家庭環境の子どもと保護者
実施内容	子ども食堂うしくっ子 Sun フードパントリー 30世帯は宅食も 三日月橋生涯学習センターにて 開催前はフードバンク様などからの食品提供の受け入れや仕分け箱詰め、精米と袋詰めなど最低でも当日以外にも3日は集まっています。 4月25日(日) 13:30～14:30  5月23日(日) 13:30～14:30 6月20日(日) 13:30～14:30 7月26日(日) 13:30～14:30  8月22日(日) 13:30～14:30 宅食 9月19日(日) 12:00～14:00  

「いばらき子ども食堂応援助成」活動報告書

[illegible]

「いばらき子ども食堂応援助成」

決 算 書

活動名	まだまだコロナ禍子ども食堂うしくっ子Sunフードパントリー
団体名	特定非営利活動法人きらきらスペース

区分	勘定科目	内容						金額	
収益	受取助成金	いばらき子ども食堂応援助成						¥300,000	
	自主財源	寄付						¥106,523	
	経常収益計							¥406,523	
区分	勘定科目	内容	単価	×	数量	=	金額	うち助成金 充当額	うち自己資 金充当額
費用	諸謝金	ボランティア	¥3,000	×	11 名	=	¥33,000	¥30,000	¥3,000
	会議費	お茶代	¥1,200	×	1	=	¥1,200	¥1,200	¥0
	旅費交通費	運搬、送迎、宅食等ガソリン代	¥80,276	×	1	=	¥80,276	¥61,110	¥19,166
	通信運搬費	送料、郵便等	¥4,224	×	1	=	¥4,224	¥4,224	¥0
	消耗品費	食材費、消耗品	¥99,380	×	1	=	¥99,380	¥80,000	¥19,380
	保険料	ボランティア、参加者	¥60,990	×	1	=	¥60,990	¥60,990	¥0
	水道光熱費	電気代	¥22,453	×	1	=	¥22,453	¥22,453	¥0
	賃借料	会場使用料	¥3,000	×	35 回	=	¥105,000	¥40,023	¥64,977
	経常費用計						¥406,523	¥300,000	¥106,523

「いばらき子ども食堂応援助成」活動報告書

活動名	おいしさとまごころを届ける支援活動
団体名	ami seed
この活動で 取り組んだ 地域の課題 や背景	1. 課題 人口流動化等に伴い生じる個人の課題を地域の課題として共有し、支援活動を軸とした支援する者と支援を受ける者による相互扶助が可能となる地域社会の実現を目指す。 2. 背景 コロナ渦は「身近な地域」に見えていなかった課題があり、「身近な地域」で課題を解決せざるをえないことを再認識させる契機となった。 阿見町をルーツとしない者（大学生や外国人居住者等）は、一人や一世帯では解決できない課題を「誰か」とつながり、解決することの必要性を感じ、社会とのつながりを求める意識が高まりつつある。 子ども食堂やフードパントリーのボランティアに来て下さる方々の居場所として昔ながらのコミュニティに所属する者は、地域社会の健全な維持発展のためにも「誰か」を支援することの重要性、自身が独居になるかもしれない等の将来への不安を解消させることにもつなげることができる。
この活動の 目的	身寄りがなく孤立している方に寄り添うこと。支援する者と支援を受ける者も相互に交流しながら地域の課題を共有し、今まさに求められている持続可能な相互扶助の環（WA）を地域社会の実現を目指す。
活動の対象	茨城県南在住する単身世帯・ひとり親世帯及びその家族。
実施内容	毎月第二日曜日のお弁当支援を中心に活動。子どもたちの栄養面を考慮して、管理栄養士のメンバーが献立を考え、5分つきのお米を使用したお弁当を提供してきた。調理師免許を持つメンバーを中心に調理。普段、仕事で忙しいひとり親さんとお子さんが日曜日の夜、一緒に晩御飯を食べられるようにしてきた。また、第四土曜日の無料塾とあわせて85歳のお姉さま方が作るおにぎり食堂を開始。  調理を担当するメンバーも、高校生～高齢者（独居の高齢者）が参加している。 親子での参加や、多様な世代の活動場所にもつながる。  ご飯からも栄養を高く取るため、精米方法を5分つきでおこなう。そのため、茶色のご飯にはなるが、子どもたちの栄養摂取や、彩り、手間をかけ真心が伝わるお弁当を提供。

「いばらき子ども食堂応援助成」活動報告書

飲食店のお弁当を購入して、必要な家庭など、子ども食堂の調理場所が公共施設のためコロナの蔓延防止などが入ると公共施設の利用が中止される。そのため、子ども食堂の代わりに飲食店のお弁当を提供しました。

町内の区長・民生委員から行政に連絡、電気・ガス等が停止した家庭など継続なお弁当、食糧支援も行ってきました。



飲食店さんの方々も趣旨を組んで下さり金額より、ボリュームや彩りなどを考えて下さる飲食店さんが多く、私たちの負担を減らすため宅配して下さる配慮をして下さった。

活動実施後の成果

スタート時40食からスタートし、SNSの拡散やフードパントリーの効果もあり、120食にまで増える。お弁当の引き渡しや宅配から、些細な変化やひとり親さんたちのコミュニティーの場になりつつある。また、支援されるだけではなく、何か自分にも出来ることがあるでは？と協力してくれるひとり親さんも増えてきている。

今後の展望や新たに 見えてきた 地域課題

コロナ禍の状況をみて、子どもたちを招いてのこども食堂のスタートを展開予定。ひとり親さんの孤立、子どもたちの社会との関わる機会が減ってきていることが懸念される。

寄付者への一言

ご寄付をくださる方と支援を受け取る方をつなげることができれば一番のやりがいと考え、事業を進めさせて参りました。ありがとうございました。

自己評価

- ☒ A. 目標を超える成果を得ることができた
- ☐ B. ほぼ目標どおりの結果となった
- ☐ C. 残念ながら目標を達成できなかった
- ☐ D. その他（ ）

「いばらき子ども食堂応援助成」

決 算 書

活動名	おいしさたまごころを届ける支援活動
団体名	ami seed

区分	勘定科目	内容						金額	
収益	受取助成金	いばらき子ども食堂応援助成						¥300,000	
	自主財源	会費（3,000×13名）・寄付						¥45,441	
	経常収益計							¥345,441	
区分	勘定科目	内容	単価	×	数量	=	金額	うち助成金 充当額	うち自己資 金充当額
費用	業務委託費	検便代	¥1,000	×	15 名	=	¥15,000	¥10,000	¥5,000
	保険料	ボランティア保険	¥25,060	×	1 式	=	¥25,060	¥25,060	¥0
	消耗品費	飲食店お弁当購入	¥111,692	×	1 式	=	¥111,692	¥110,000	¥1,692
	消耗品費	子ども食堂食材購入	¥70,731	×	1 式	=	¥70,731	¥70,731	¥0
	雑費	子ども食堂備品購入	¥38,218	×	1 式	=	¥38,218	¥38,218	¥0
	旅費交通費	ボランティア	¥35,446	×	1 式	=	¥35,446	¥23,058	¥12,388
	印刷製本費	チラシ・コピー代	¥18,823	×	1 式	=	¥18,823	¥18,823	¥0
	会議費	スタッフお茶代	¥4,110	×	1 式	=	¥4,110	¥4,110	¥0
	会議費	スタッフ昼食代	¥21,461	×	1 式	=	¥21,461	¥0	¥21,461
	消耗品費	精米代	¥4,900	×	1 式	=	¥4,900	¥0	¥4,900
	経常費用計							¥345,441	¥300,000 ¥45,441

**2020 年度いばらき子ども食堂応援助成
活動報告書**

2022 年 4 月

認定 NPO 法人 茨城 NPO センター・コモンズ
〒310-0031

茨城県水戸市大工町 1-2-3 トモスみとビル 4 階
みとしんビジネスセンター C-1

電話 : 029-300-4321 FAX : 029-300-4320

e メール : kodomo@npocommons.org